



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <https://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CSR・IR部長 (氏名) 田中 善則

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (2022年11月25日に当社ホームページにて動画掲載予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	176,004	29.4	7,953	9.4	8,128	3.7	5,634	3.0
2022年3月期第2四半期	136,041	21.8	7,269	98.1	7,834	112.7	5,469	99.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 7,735百万円 (13.7%) 2022年3月期第2四半期 6,805百万円 (155.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	215.99	
2022年3月期第2四半期	209.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	135,708	81,528	60.0
2022年3月期	115,797	74,420	64.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 81,367百万円 2022年3月期 74,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		22.00		24.00	46.00
2023年3月期		25.00			
2023年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	21.2	12,800	0.9	13,300	3.2	9,300	2.7	356.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	26,908,581 株	2022年3月期	28,908,581 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	822,848 株	2022年3月期	2,822,619 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	26,085,818 株	2022年3月期2Q	26,086,442 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、景気に緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、世界的なインフレや、サプライチェーンの制約などを受けた供給面での混乱等から、下振れリスクへの懸念が続いております。我が国経済においても、急激な円安進行による仕入コストの増大や、中国でのゼロコロナ政策等の影響により、個人消費の停滞感や企業の生産活動に鈍化が見られるなど、先行き不安な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業においては、資源リサイクルの総合力及び高機能電子材料の開発などによる差別化のもとで営業展開の強化と国内外の生産拠点活用を進め、貴金属原料の確保、化成品等の製商品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組みました。また、食品関連事業においては、世界的な食資源の供給不安や仕入価格の上昇などにも柔軟に対処し、多様化する顧客ニーズに応えた商品の開拓と安全安心な商品の安定提供により、販売量の拡大に取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高176,004百万円（前年同四半期比29.4%増）、営業利益7,953百万円（前年同四半期比9.4%増）、経常利益8,128百万円（前年同四半期比3.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,634百万円（前年同四半期比3.0%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界は、半導体不足や中国のゼロコロナ政策などの影響を受けて自動車やスマートフォンの生産には停滞感があったものの、データセンター需要の好調などもあり、半導体・電子デバイス分野の生産活動は、引き続き堅調に推移しました。また、世界的なインフレ加速や地政学的リスクの高まりなどから、金などの貴金属相場は上昇しました。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業では、貴金属リサイクルの取扱量及び産業廃棄物の処理受託は増加し、金製品、銀製品、白金族製品等の販売量増加に加え、金などの貴金属相場上昇に伴う販売単価の上昇もあり、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は126,985百万円（前年同四半期比31.3%増）、営業利益は6,610百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。

食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限等が解除されたことにより外食産業をはじめ持ち直しの傾向が見られましたが、原材料価格の上昇や急激な円安進行等に伴う相次ぐ値上げ発表によって消費者の節約志向は継続し、総じて厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループの食品関連事業では、水産品、農産品の販売量は増加し、全体的に販売単価も上昇したことから、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。また、営業利益につきましては、運送費及び保管料の増加などにより、前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は49,058百万円（前年同四半期比24.6%増）、営業利益は1,343百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ19,910百万円増加し、135,708百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金、棚卸資産並びに土地・建物等の有形固定資産の増加によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ12,802百万円増加し、54,179百万円となりました。これは主として買掛金及び長短借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ7,108百万円増加し、81,528百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。

なお、2022年8月10日開催の取締役会決議に基づき、2022年8月22日付で自己株式の消却を行った結果、利益剰余金と自己株式がそれぞれ2,418百万円減少しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ130百万円減少し、11,248百万円となりました。

(営業活動のキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は3,754百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益、減価償却費並びに仕入債務の増加による資金の増加と、売上債権、棚卸資産の増加及び法人税等の支払いによる資金の減少との差引によるものです。なお、前年同四半期の8,475百万円の資金の増加に比べ12,230百万円減少しました。

(投資活動のキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は9,492百万円となりました。これは主として土地・建物等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の1,188百万円の支出に比べて8,303百万円の支出増加となりました。

(財務活動のキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は12,379百万円となりました。これは主として長短借入金増加によるものです。なお、前年同四半期の5,114百万円の資金の減少に比べ17,493百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月10日に公表いたしました「2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、剰余金の配当につきましては、2023年3月期の期末配当を1株当たり25円(1円増配)に予想を修正しております。これにより、中間配当金と合わせた年間合計では、1株当たり50円の配当を予定しております。詳細につきましては、2022年11月10日に公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)の決定及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,379	11,248
受取手形及び売掛金	26,104	30,068
商品及び製品	27,202	34,177
仕掛品	614	654
原材料及び貯蔵品	13,962	13,697
未収入金	1,938	1,699
その他	4,918	5,722
貸倒引当金	△45	△27
流動資産合計	86,073	97,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,633	13,854
減価償却累計額	△6,061	△6,431
建物及び構築物(純額)	6,572	7,423
機械装置及び運搬具	12,659	13,153
減価償却累計額	△9,294	△9,956
機械装置及び運搬具(純額)	3,365	3,197
土地	8,768	16,929
リース資産	1,723	1,743
減価償却累計額	△899	△982
リース資産(純額)	824	761
建設仮勘定	994	809
その他	1,537	1,634
減価償却累計額	△1,285	△1,388
その他(純額)	252	246
有形固定資産合計	20,777	29,367
無形固定資産		
その他	772	912
無形固定資産合計	772	912
投資その他の資産		
投資有価証券	5,484	5,714
繰延税金資産	819	638
その他	1,895	1,855
貸倒引当金	△25	△21
投資その他の資産合計	8,174	8,187
固定資産合計	29,724	38,467
資産合計	115,797	135,708

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,231	12,946
短期借入金	9,724	10,953
1年内返済予定の長期借入金	1,588	3,302
リース債務	302	266
未払法人税等	3,128	2,739
賞与引当金	1,012	1,268
未払金	1,312	645
その他	5,292	4,080
流動負債合計	33,592	36,203
固定負債		
長期借入金	4,239	14,524
リース債務	535	508
繰延税金負債	12	9
役員退職慰労引当金	742	765
執行役員退職慰労引当金	25	18
退職給付に係る負債	2,111	2,050
その他	117	100
固定負債合計	7,784	17,976
負債合計	41,377	54,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	69,940	72,529
自己株式	△3,413	△995
株主資本合計	74,095	79,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	580	533
繰延ヘッジ損益	△766	△147
為替換算調整勘定	1,311	2,650
退職給付に係る調整累計額	△923	△770
その他の包括利益累計額合計	202	2,265
非支配株主持分	122	160
純資産合計	74,420	81,528
負債純資産合計	115,797	135,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	136,041	176,004
売上原価	120,316	158,404
売上総利益	15,725	17,600
販売費及び一般管理費	8,456	9,646
営業利益	7,269	7,953
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	20	21
投資有価証券売却益	—	40
持分法による投資利益	213	296
仕入割引	7	7
為替差益	2	—
補助金収入	326	—
その他	27	47
営業外収益合計	601	418
営業外費用		
支払利息	28	95
為替差損	—	116
その他	7	32
営業外費用合計	36	244
経常利益	7,834	8,128
税金等調整前四半期純利益	7,834	8,128
法人税、住民税及び事業税	2,505	2,611
法人税等調整額	△151	△141
法人税等合計	2,354	2,470
四半期純利益	5,480	5,657
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,469	5,634

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	5,480	5,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74	△47
繰延ヘッジ損益	773	618
為替換算調整勘定	317	1,182
退職給付に係る調整額	141	151
持分法適用会社に対する持分相当額	17	173
その他の包括利益合計	1,324	2,077
四半期包括利益	6,805	7,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,795	7,696
非支配株主に係る四半期包括利益	9	38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,834	8,128
減価償却費	1,024	1,111
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△69	△21
賞与引当金の増減額 (△は減少)	223	256
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	132	154
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	19	22
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	△7
受取利息及び受取配当金	△24	△25
支払利息	28	95
持分法による投資損益 (△は益)	△213	△296
補助金収入	△226	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△638	△3,546
未収入金の増減額 (△は増加)	△630	245
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,101	△6,278
仕入債務の増減額 (△は減少)	△100	1,399
その他	△516	△2,121
小計	9,949	△884
利息及び配当金の受取額	113	190
利息の支払額	△29	△89
法人税等の支払額	△1,558	△2,970
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,475	△3,754
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△985	△9,383
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△167	△223
投資有価証券の取得による支出	△7	△9
投資有価証券の売却による収入	—	57
その他	△30	64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,188	△9,492
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,625	1,150
長期借入れによる収入	—	13,500
長期借入金の返済による支出	△794	△1,501
配当金の支払額	△521	△626
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△171	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,114	12,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	154	737
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,327	△130
現金及び現金同等物の期首残高	8,803	11,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,131	11,248

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	96,701	39,339	136,041	—	136,041
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	38	38	△38	—
計	96,701	39,378	136,079	△38	136,041
セグメント利益	5,901	1,368	7,269	—	7,269

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	126,985	49,018	176,004	—	176,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	40	40	△40	—
計	126,985	49,058	176,044	△40	176,004
セグメント利益	6,610	1,343	7,953	—	7,953

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。